

第7章 滋賀県の観光

1. 令和4年の観光入込客数

調査方法

① 滋賀県観光入込客統計調査

県内の年間入込客数が1,000人以上見込まれる観光地について、市町から寄せられた報告を集計。

② 宿泊旅行統計調査

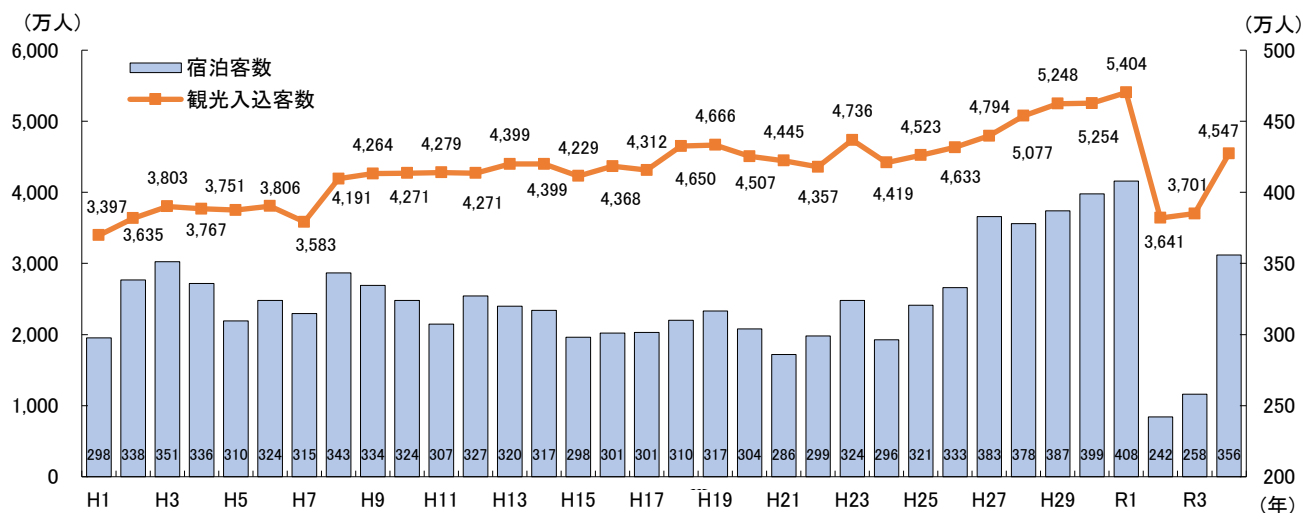
国土交通省観光庁が宿泊事業所に郵送またはオンラインにより調査を実施。

(1) 観光入込客数

令和4年は、新型コロナウイルス感染症に係る行動制限が緩和されたことによる各イベント・祭りの再開や旅行需要の回復、また、前年に引き続き、宿泊周遊キャンペーン「今こそ滋賀を旅しよう！」をはじめとする各種の需要喚起策を継続して実施したことにより、観光入込客数は対前年22.9%増の45,470,810人、宿泊者数についても対前年38.1%増の3,558,788人と、大幅に回復した。

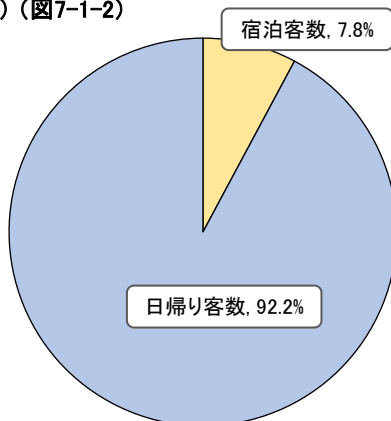
外国人観光入込客数については、10月中旬から入国制限が緩和されたことにより、対前年112.1%増の82,702人と、回復傾向にあった(図7-1-1,2)。

◆ 観光入込客数の推移(図7-1-1)



資料: 滋賀県観光振興局「令和4年滋賀県観光入込客統計調査」

◆ 日帰り客数と宿泊客数の割合(R4) (図7-1-2)

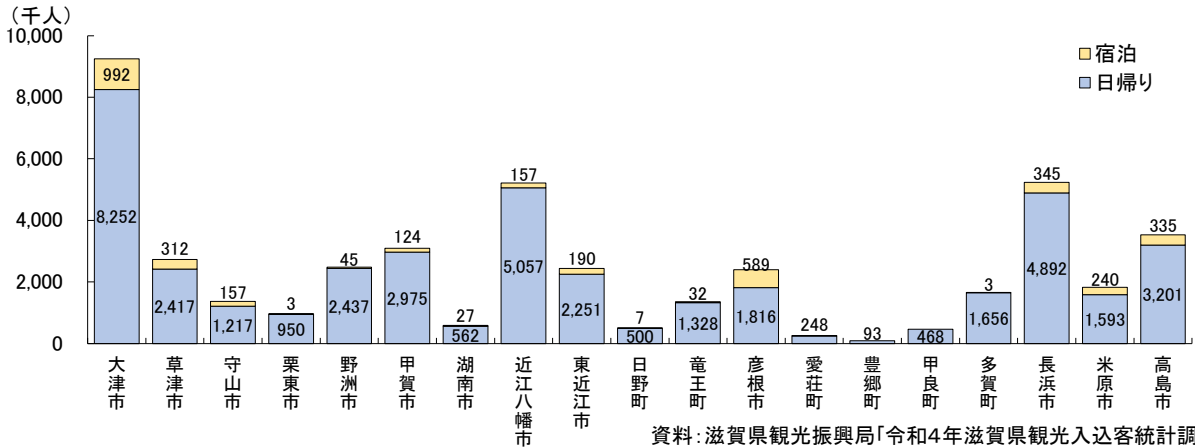


資料: 滋賀県観光振興局「令和4年滋賀県観光入込客統計調査」

(2) 市町別観光入込客数

市町別の観光入込客数は、宿泊客を含む延べ数で「大津市」が約924万人で一番多く、次いで「長浜市」約524万人、「近江八幡市」約521万人と続いている(図7-1-3)。

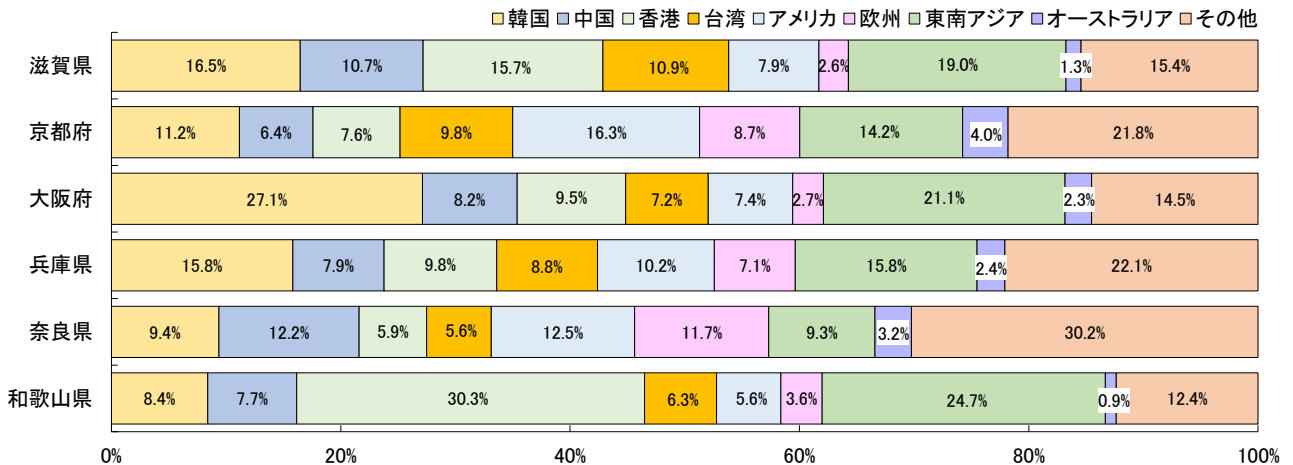
◆市町別観光客数(図7-1-3)



(3) 近畿府県の国・地域別延べ外国人宿泊者割合

本県の外国人宿泊者数については、前年は「中国(31.2%)」が最も高くなっていたが、令和4年は「韓国」が全体の16.5%を占めて最も高くなっている(図7-1-4)。

◆近畿府県の国・地域別延べ外国人宿泊数(図7-1-4)



注) 欧州はドイツ・イギリス・フランスの3カ国
 東南アジアはシンガポール・タイ・マレーシア・インドネシア・ベトナム・フィリピンの6カ国
 一部標準誤差率が30%以上の推計値あり

資料: 観光庁「宿泊旅行統計調査(令和4年)」

2. 令和4年の観光客の動向

(1) 滋賀県観光統計調査の結果概要

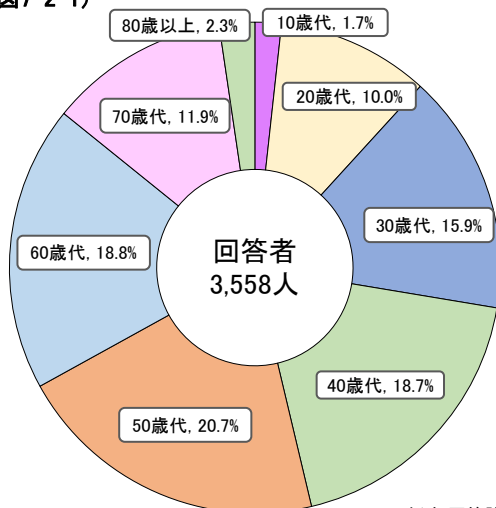
① 調査方法

四半期ごとに県内の観光地10か所において、その地を訪れた観光客に聞き取り調査を実施。

② 来訪者の内訳

来訪者を年齢別にみると、「50歳代」が20.7%と最も多く、続いて「60歳代」が18.8%である(図7-2-1)。また、居住地別にみると、「滋賀県」が29.4%で最も多く、続いて「大阪府」、「京都府」、「愛知県」の順となっている(図7-2-2)。

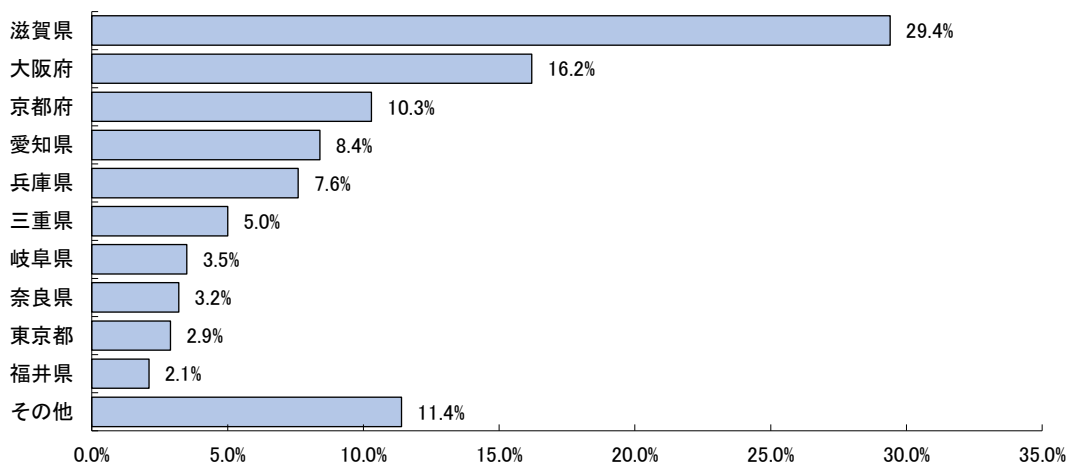
◆来訪者の内訳(年齢別)(図7-2-1)



注)無回答除く、択一回答

資料:滋賀県観光振興局「令和4年度滋賀県観光統計調査」

◆来訪者の内訳(居住地別)(図7-2-2)



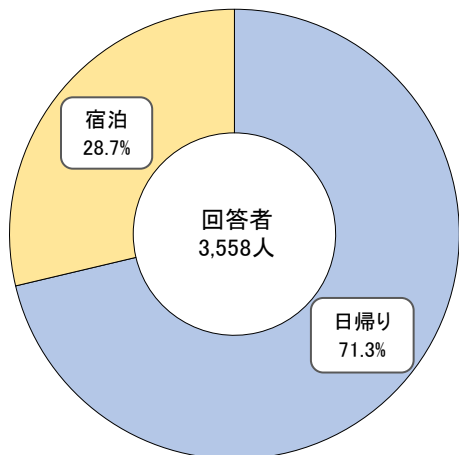
注)回答者:3,558人(※無回答除く、択一回答)

資料:滋賀県観光振興局「令和4年度滋賀県観光統計調査」

③日帰り・宿泊動向

「日帰り」旅行は71.3%、「宿泊」旅行は28.7%であった(図7-2-3)。県内の宿泊数別にみると、「1泊」が74.0%と最も多くなっている(図7-2-4)。

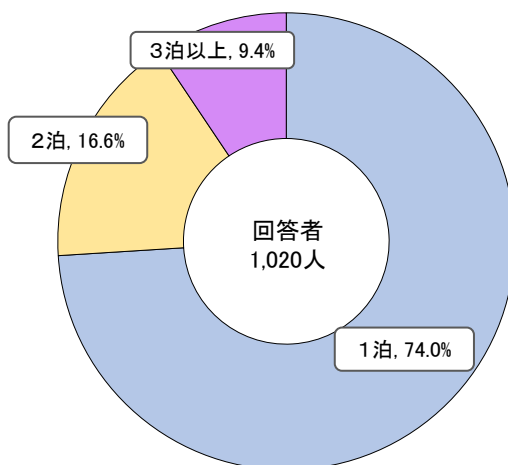
◆日帰り・宿泊動向(図7-2-3)



注) 無回答除く、択一回答

資料:滋賀県観光振興局「令和4年度滋賀県観光統計調査」

◆県内宿泊の泊数(図7-2-4)



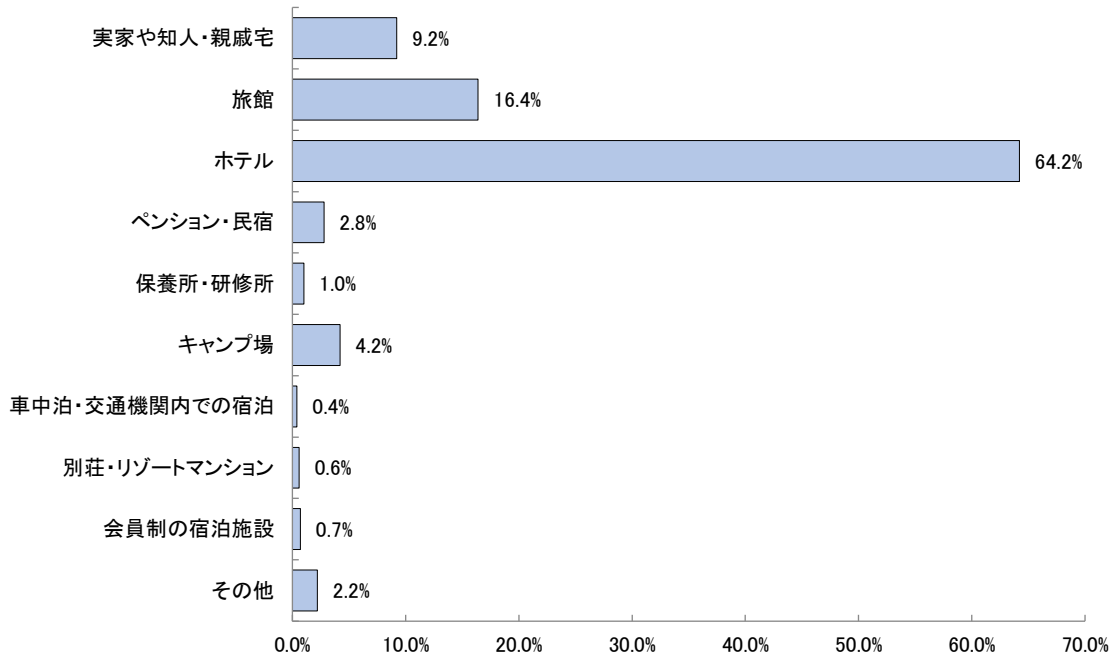
注) 択一回答

資料:滋賀県観光振興局「令和4年度滋賀県観光統計調査」

④ 県内利用宿泊施設の内訳

県内宿泊者のうち、「ホテル」の利用が64.2%と最も多く、続いて「旅館」が16.4%、「実家や知人・親戚宅」が9.2%となっている(図7-2-5)。

◆ 利用宿泊施設の内訳(図7-2-5)



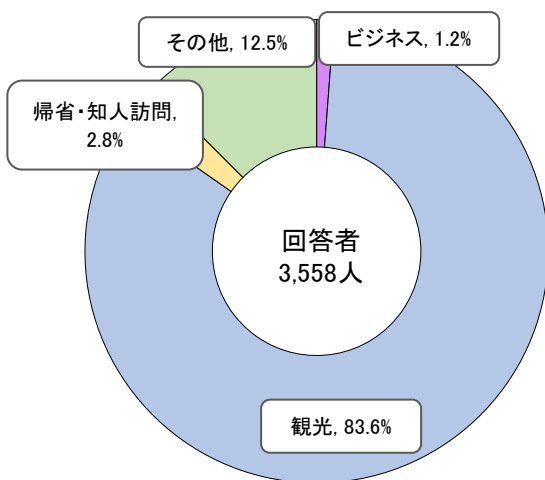
注) 回答者: 812人(※複数回答)

資料: 滋賀県観光振興局「令和4年度滋賀県観光統計調査」

⑤ 旅行の目的

旅行の目的別にみると、8割以上が観光であり、その内訳は、「自然の風景を見る」が39.1%で最も多く、続いて「神社仏閣・旧跡」が35.0%、「琵琶湖」が27.8%、「買い物」が23.7%となっている(図7-2-6,7)。

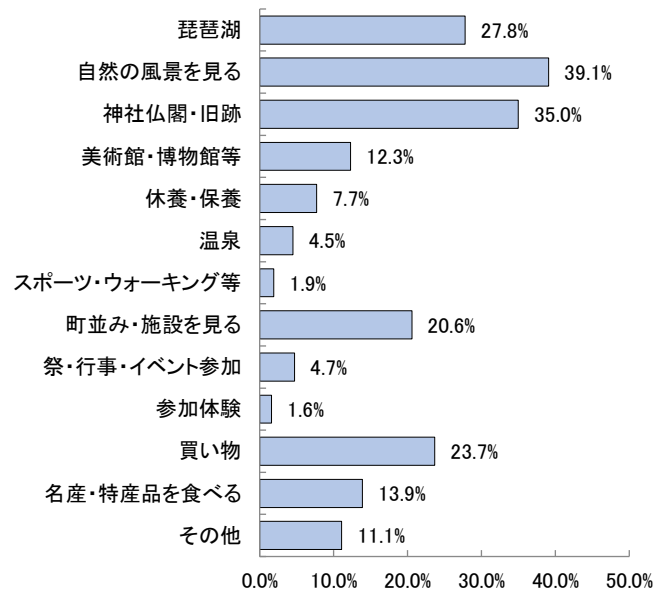
◆ 旅行の目的(図7-2-6)



注) 無回答除く、択一回答

資料: 滋賀県観光振興局「令和4年度滋賀県観光統計調査」

◆ 観光目的の内訳(図7-2-7)



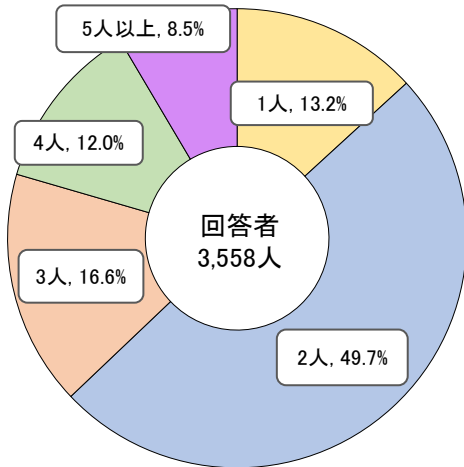
注) 回答者: 2,974人(※複数回答)

資料: 滋賀県観光振興局「令和4年度滋賀県観光統計調査」

⑥ 旅行人数・同行者種別

人数別にみると、「2人」が49.7%と最も多く、続いて「3人」が16.6%、「1人」が13.2%である(図7-2-8)。また、2人以上の旅行者の同行者の内訳は、「家族」が75.0%と最も多く、続いて「友人」が21.0%となっている(図7-2-9)。

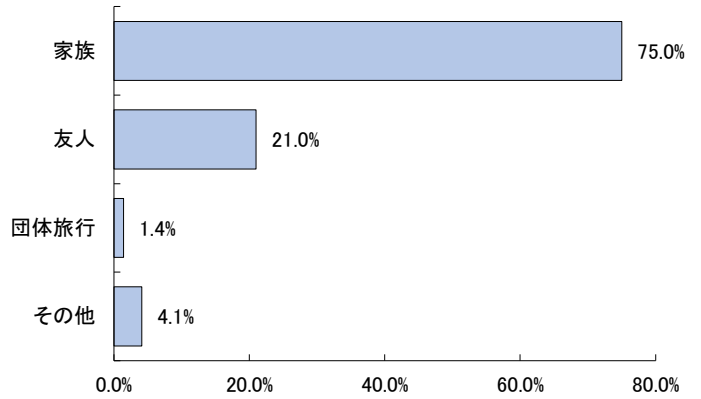
◆ 旅行人数と同行者(図7-2-8)



注) 択一回答

資料: 滋賀県観光振興局「令和4年度滋賀県観光統計調査」

◆ 同行者種別(図7-2-9)



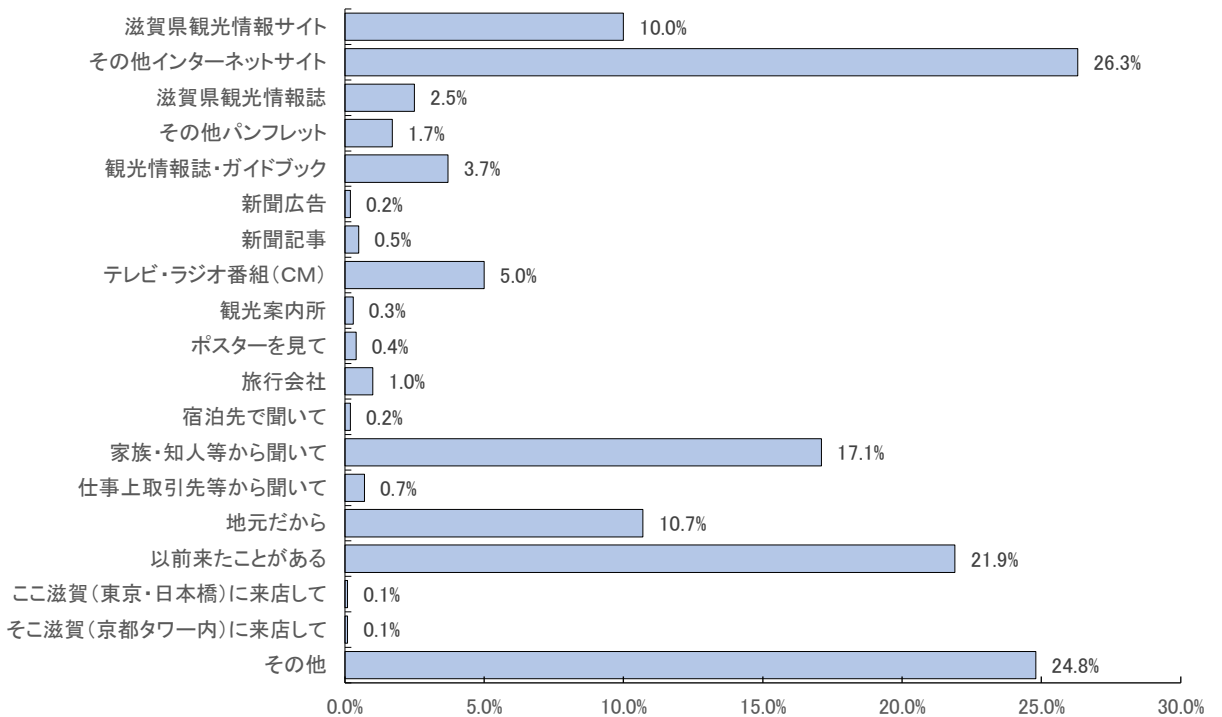
注) 回答者3,088人(※無回答除く、複数回答)

資料: 滋賀県観光振興局「令和4年度滋賀県観光統計調査」

⑦ 旅行を思い立ったきっかけ

観光目的の旅行者のうち、旅行を思い立ったきっかけを尋ねたところ、「その他インターネットサイト」が26.3%で最も多く、続いて「以前来たことがある」が21.9%、「家族・知人等から聞いて」が17.1%、「地元だから」が10.7%となっている(図7-2-10)。

◆ 旅行のきっかけ(図7-2-10)



注) 回答者3,558人(※無回答除く、複数回答)

資料: 滋賀県観光振興局「令和4年度滋賀県観光統計調査」